

財団法人

神奈川県生活衛生営業指導センター

30

周年記念誌



目次

ごあいさつ.....	3
祝辞.....	4
センター30年のあゆみ.....	8
歴代三役.....	11
創立30周年によせて.....	12
表彰者名簿.....	16
組合紹介.....	20
フォトライブラリー.....	29
編集後記.....	32
協賛広告.....	33
組合広告.....	69

財団法人 神奈川県生活衛生営業指導センター

理事長 八亀 忠勝



当指導センターは、衛生水準の維持向上及び利用者又は消費者の利益の擁護の見地から生活衛生関係営業（以下「生衛業」という）全般の健全な発達を図ることを目的として、「生活衛生関係営業の運営の適正化及び振興に関する法律」に基づき昭和57年に設立されました。

それから早いもので30年の歳月が流れ、ここに創立30周年を迎えることができました。これもひとえに関係機関、諸先輩のご支援ご協力のたまものと改めて深い感謝の意を表するものであります。

かえりみますと、この30年間に国の内外とも大きな変革が見られました。近年国内では、放射性物質による食品汚染や、腸管出血性大腸菌による食中毒の集団発生など、食の安全・安心を揺るがす大きな事件や事故が相次いで発生しており、我々を取り巻く環境は厳しさを増しています。

また、生衛業に対する消費者の期待やニーズは少子高齢化の進展や安全・安心に対する意識の高まり、価値観の多様化等により、大きく変化しております。

このような状況の中、当指導センターでは、「生活衛生関係の情報の提供」「安全・安心」「健康増進」「環境保全」等への取組みに努めてまいりました。

現在は、公益法人制度の抜本的改革の手続きに沿って、新たな公益財団法人の認定を受け、さらに公益事業への取組みに邁進していくこととしております。

おりしも、本年は巳年であります。

巳は探求心と情熱の象徴です。また、恩を忘れず、必ず恩返しをし、生命力も強いといわれています。

その上、脱皮を繰り返すことから再生のシンボルで、その都度さらに強くなることから、広く庶民より守り神として信仰されています。

当指導センターも今年に記念事業を実施し、さらに公益財団法人への移行をつつがなく済ませ、この縁起の良い干支にあやかって、しっかり脱皮して参りたいと思います。

今後とも、事業の一層の充実と新たな事業を通じ、業界の活性化に役立ちたいと考えておりますので、皆様のご指導ご鞭撻をお願い申し上げて発刊の言葉とさせていただきます。

祝 辞

創立30周年によせて

神奈川県知事

黒岩 祐治



財団法人神奈川県生活衛生営業指導センターが創立30周年を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。

貴センターは、昭和57年7月に設立され、生活衛生関係営業の運営の適正化及び振興に関する法律に基づいて本県が指定した生活衛生営業のための専門の指導機関として、30年間の長きにわたり、生活衛生同業組合の方々とともに歩まれてきました。

この間、生活衛生営業に関する衛生施設の維持や改善、経営の健全化を図るための相談や指導、そして講習会等の事業などに取り組んでこられました。また、消費者にご利用いただく際の安全・清潔・安心の目印となる標準営業約款制度（Sマーク）の普及など、県民の生活に密着した生活衛生関係営業の振興を通じて、本県の衛生水準の向上に大きく貢献してこられました。

歴代の理事長をはじめとする役員ならびに関係者の皆様のこれまでのご尽力に深く敬意を表しますとともに、改めて厚くお礼申し上げます。

近年では、消費者のニーズや価値観が多様化する中で、生活衛生を取り巻く環境は大きく変化してきており、健康づくりをはじめ、生活の安全と安心に対する県民の関心は、非常に高くなっております。

県は、新たな総合計画「かながわグランドデザイン」を平成24年3月に策定し、県民一人ひとりのいのちを輝かせるとともに、人やものを引きつける魅力を持った「いのち輝くマグネット神奈川」の実現に向けて、関係団体等の皆様とも連携しながら、総力を挙げてさまざまな施策の推進に取り組んでおります。県民の暮らしに直結する生活衛生営業における衛生水準の維持向上とその確保について、今後とも皆様のご協力とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、このたびの創立30周年を契機として、貴センターのさらなるご発展と、関係者の皆様のますますのご健勝、ご活躍をお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。

創立30周年によせて

神奈川県議会議員

竹内 英明



(財)神奈川県生活衛生営業指導センターの創立30周年を心からお祝い申し上げます。

貴センターは、昭和57年に生活衛生関係営業の経営の健全化と衛生水準の向上を図り、利用者・消費者の利益を守ることを目的として、「生活衛生関係営業の運営の適正化及び振興に関する法律」に基づき、知事が指定した専門の指導機関として設置され、以来30年の長きに亘り、県内の生活衛生関係営業と県民の暮らしの向上に大きく寄与してこられました。

八亀理事長を始め、歴代の役員の方々、そしてセンターの職員の皆様が一致団結して活動을続け、社会に貢献されてこられましたことに、深く敬意を表します。

さて、我が国の経済状況を見ますと、景気は世界景気の減速等を背景として、このところ弱い動きとなっており、依然として厳しい状況にあります。

また、県政におきましては、安全・安心なエネルギーの確保や大規模災害などへの対応を始め、地域経済の活性化、くらしの安全・安心の確保、さらには明日の神奈川を担う次世代の育成や青少年の健全育成など、早急に対策を講じなければならない課題が山積しております。

近年の生活衛生関係営業を取り巻く環境に目を転じますと、個人・家族営業者が多い中、経営者の高齢化と後継者確保難に直面しているうえ、経済の低迷と低価格化を競う傾向により、大変に厳しい状況にあると伺っています。

こうした中、貴センターにおかれましては、衛生施設の維持・改善向上や経営健全化についての相談と指導を始め、利用者・消費者の苦情処理、生活衛生同業組合に対する指導、講習会・講演会・展示会等の開催やあっせんなど幅広い分野において取組みを進めておられます。

皆様のご尽力に対しまして厚く感謝申し上げます。

県議会といたしましても、県民が安心して生き生きとくらすことができる地域社会づくりを目指して、今まで以上に努力してまいりますので、どうか皆様におかれましても、県民の公衆衛生の向上と県民生活の安定のためお力添えをお願い申し上げます。

結びに、(財)神奈川県生活衛生営業指導センターのますますのご発展と、皆様のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

祝 辞

創立30周年によせて

財団法人全国生活衛生営業指導センター

理事長 井元 弘



このたび財団法人神奈川県生活衛生営業指導センターが創立30周年を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。

各都道府県において生衛業界指導の中核となっている都道府県生活衛生営業指導センターは、昭和32年に制定された生活衛生同業組合及び生衛業界振興等の基本法である「生活衛生関係営業の運営の適正化及び振興に関する法律」（略称：生衛法）の改正により、昭和55年以降、各都道府県で順次設立されました。神奈川県指導センターにおかれましては、昭和57年に設立されて以来、30年間にわたって県下の生衛業の経営の健全化並びに衛生水準の維持向上、消費者の利益の擁護を図るために、経営相談指導事業、研修・講習会事業をはじめ数々の事業の推進に努められており、歴代の役職員の皆様方の今日までの取組みに対しまして深く敬意を表するものです。

今後の都道府県指導センターの在り方等については、平成22年の行政刷新会議・行政事業レビューでの事業仕分けの評価結果を踏まえて、厚生労働省において見直し検討が行われ、消費者保護や後継者育成支援への対応強化、総合調整機能の強化、事業評価の実施など、改革の具体的方策が示されましたが、生衛業は地域社会において国民の日常生活に密接に関係するサービスを提供する営業であることから、その衛生水準の維持向上、経営の安定と振興を図ることは公衆衛生の向上と豊かな国民生活を築く上で重要な意味があり、都道府県指導センターの果たす役割は今後ますます重要性を増していくものと考えます。

当全国指導センターと致しましても、生衛業の活性化と時代に即応した振興を図るため、都道府県指導センターとの連携を一層密にして、各種事業の推進に更なる努力を重ねてまいる所存ですので、引き続きご支援並びにご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、このたびの記念式典のご盛会と、神奈川県指導センターが県下の生衛業界の活性化と振興発展に向けて、更なるご発展を遂げられることを心から祈念致しまして、私の祝辞とさせていただきます。

生活衛生業界のリーダーとして30周年

日本政策金融公庫横浜支店

国民生活事業統轄 坪井 泰三



(財)神奈川県生活衛生営業指導センターが設立30周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

皆様におかれましては、30年の永きにわたり、生活衛生関係事業者や組合のリーダーとして、国民の安心安全のための衛生水準の確保や、また、一方で、小規模な事業者の多い生活衛生営業の経営の健全化、基盤の強化のために様々な活動や取り組みを地道に継続してこられました。

また私ども公庫の生活衛生融資の推薦、斡旋、融資制度研修等で深く連携し、公庫の融資にも多大なご貢献をしていただきました。

ここに改めまして、皆様方の不断のご努力に対し深く敬意を表するとともに心から感謝申し上げます。

振り返れば、オイルショック後の厳しい時代に設立され、苦境に立つ生活衛生関係営業のリーダーとして、魅力あるサービスや店づくり、Sマーク運動など技術や衛生面の向上、また、消費者団体への真摯な対応など、業界のためのみならず国民生活の向上のために幅広く活動され、業界の地位の向上、質の向上に力を発揮されてこられました。

最近の経済情勢は、政権が代わり上向く兆しもありますが、昨今は円高が続き、また、中国との関係悪化等もあり、輸出を中心に日本経済はマイナスに転じております。賃金情勢も低迷し、消費が冷え込んでおり、国民の生活、消費に密着している生活衛生事業者の経営環境は一向に良くなりません。

一方で、採算を度外視した低料金店の攻勢、大手やF Cの無秩序な乱立・撤退の繰り返し等にも脅かされています。

良心的で技術力のある衛生水準の高いお店が廃業に追い込まれることは地域社会にとっても損失です。その点でも指導センターの存在意義は決して小さくありません。このような状況であればこそ皆様が八亀理事長を中心に一致団結してこの難局を乗り越えられることを心からご期待申し上げます。

今後とも生活衛生事業者の経営基盤や衛生水準の向上はもとより、地域社会の発展のため、皆様が一層大きな役割を果たされることを心からご期待申し上げ、次の50年、100年に向かってのさらなる飛躍、ご発展を祈念いたしましてお祝いの言葉といたします。

センター30年のあゆみ

●…センター事業 ○…世の中

昭和57年 1982

- (財)神奈川県環境衛生営業指導センター(指定8月)設立
- 初代理事長榎本孝一氏(旅館)就任
- 初代専務理事中川尊代氏(旅館)就任
- 中曽根康弘内閣成立
- 米国欧州(E C)輸出抑制要請厳しくなる
- 東北上越新幹線開業
- 教科書検定、国際問題化
- 500円硬貨発行

昭和58年 1983

- クリーニング業に標準営業約款登録制度導入決る
- 指導センター・中央会主催による「環境まつり」開催
- 第37回総選挙／第13回参院選(比例代表制導入)
- 大韓航空機事件
- 川崎分区で高津・宮前区誕生
- NHK「おしん」人気
- 三宅島21年ぶり噴火

昭和59年 1984

- クリーニング業標準営業約款登録開始(2月)
- 理容業振興計画認可(11月)
- 東証ダウ1万円台乗せ
- NHK衛生放送開始
- ロサンゼルス五輪大会
- グリコ事件発生
- 植村直己マッキンリー冬期単独登頂、下山中不明
- 新1万・5千・千円札発行

昭和60年 1985

- 第2代理事長に吉田米造氏(クリーニング)就任
- 専務理事に遠藤慶一氏就任
- クリーニング業振興計画認可(6月)
- 麺類業振興計画認可(12月)
- 電電・専売・両公社民営化
- 男女雇用機会均等法公布
- つくば科学万博開催
- 日航機御巣鷹山墜落
- 日本人エイズ患者第1号を厚生省が確認
- 本四架橋の大鳴門橋開通

昭和61年 1986

- 理容業標準営業約款登録開始(2月)
- 鮪商振興計画認可(7月)
- 食肉振興計画認可(12月)
- 第38回総選挙・第14回参院選で自民圧勝
- 大島三原山噴火
- ソ連チェルノブイリ原発事故発生
- 横浜戸塚分区で泉・栄区誕生

昭和62年 1987

- 平塚地区相談室開設(4月)
- 第3代理事長に高野庄市氏(理容)就任
- 分野調整事業協議会設置
- 飲食業・中華料理業振興計画認可(11月)
- カラオケ著作権問題起る
- 東証平均株価2万円台乗せ
- 中曽根指名で竹下登首相誕生、内閣成立
- 国鉄民営化・JRスタート
- 大恐慌上回るNY株価暴落
- 俵万智「サラダ記念日」ブーム

昭和63年 1988

- 専務理事に小林滋樹氏就任
- 社交業振興計画認可(4月)
- 喫茶業振興計画認可(5月)
- 料理業振興計画認可(8月)
- 食鳥肉販売業振興計画認可(10月)

- 東証平均株価3万台乗せ
- ソウル五輪開催
- リクルート事件発覚
- 潜水艦「なだしお」と釣船衝突事故
- 青函トンネル開業
- 東京ドーム完成

平成元年 1989

- クリーニング師等研修・講習会開始(4月)
- 理事長に高野庄市氏(理容)再任
- 旅館業振興計画認可(8月)
- 指導センターにパソコン設置

- 裕仁天皇1/7ご逝去、新元号「平成」に変わる
- 宇野内閣6/3・海部内閣7/24成立、第15回参院選
- 消費税実施(3%)
- 横浜博開催(YES'89)
- 横浜ベイブリッジ開通
- ベルリンの壁崩壊
- 歌手美空ひばり死去

平成2年 1990

- 美容業標準営業約款登録開始(11月)
- 美容業・興行振興計画認可(8月)

- 第39回総選挙
- 文仁親王、紀子さまご成婚、秋篠宮に
- 湾岸危機発生
- 東西ドイツ統一
- ペルー大統領フジモリ氏就任

平成3年 1991

- 第4代理事長に松浦健市氏(氷雪)就任
- 公衆浴場業振興計画認可(9月)

- 宮沢喜一内閣成立
- 湾岸戦争突入1/17 終結2/8
- 長崎雲仙普賢岳噴火、火砕流で大被害発生
- ソ連ゴルバチョフ大統領来日、国内でクーデター
- 横綱千代の富士引退
- 牛肉・オレンジ輸入自由化

平成4年 1992

- 環境衛生営業振興助成交付金事業開始
- 氷雪販売業振興計画認可(9月)

- 第16回参院選
- バルセロナ五輪開催
- 日本人初の宇宙飛行士毛利衛さん誕生
- 米大統領選ブッシュ敗退、次期大統領にクリントン決る

平成5年 1993

- センター創立10周年記念式典(2月17日)、記念誌発行
- 第5代理事長に齋藤季武氏(食鳥肉)就任
- 専務理事に堀越孝一氏就任
- 環境業PR事業開催
- 景況調査開始
- 事務所移転(4.7.8F→9F)

- 米大統領にクリントン誕生
- 皇太子妃に小和田雅子さん決る
- 初の外国人横綱に曙、史上最年少大関に貴の花
- Jリーグ開幕
- 横浜ランドマークタワー開業(7月16日)

平成6年 1994

- 第1回「食とくらしのフェスタ」開催
- 環境業情報ネットワークシステムの運用開始

- 村山政権誕生(自・社・さ3党連立)
- 中華航空機名古屋空港で着陸失敗(264人死亡)
- 向井千秋さんが日本人初の女性宇宙飛行士
- 大江健三郎さんノーベル文学賞
- 日本各地で猛暑

平成7年 1995

- 第6代理事長に富田茂吉氏(クリーニング)就任
- 第2回「食とくらしのフェスタ」開催
- 環境衛生関係営業活性化調査実施

- 阪神淡路大震災(1月17日)
- 地下鉄サリン事件、オウム事件摘発
- 野茂投手大リーグで新人王
- 「もんじゅ」でナトリウム漏れ事故
- 特別地方消費税廃止

平成8年 1996

- 第3回「食とくらしのフェスタ」開催

- O-157集団食中毒事件
- 小選挙区で初の総選挙
- 豊浜トンネル(北海道)で崩落事故
- アトランタ五輪開催

平成9年 1997

- 第7代理事長に八亀忠勝氏(喫茶)就任
- 専務理事に宮代諺嗣氏就任
- 第4回「食とくらしのフェスタ」開催

- ペルー日本大使公邸人質事件
- ダイアナ元皇太子妃パリで事故死
- 消費税5%に
- 東京湾アクアライン開通

平成10年 1998

- 第5回「食とくらしのフェスタ」開催

- 長野冬期五輪開催、日本「金」5個
- 和歌山カレー毒物混入事件
- サッカーW杯仏大会日本初出場
- 参院選で自民惨敗、小渕内閣発足
- 横浜がプロ野球日本一
- 明石海峡大橋開通

平成11年 1999

- 第8代理事長に牧田吾郎氏(鮭商)就任
- 第6回「食とくらしのフェスタ」開催
- 指導センターのホームページ開設
- 環境衛生営業経営特別相談員養成講習会実施(県委託)
- 環境業情報ネットワークシステム新システム(LAN)に全面移行

- 東海村の核燃料工場で国内初の臨界事故
- 国民金融公庫と環境衛生金融公庫が統合して国民生活金融公庫発足
- EUの単一通貨「ユーロ」誕生

センター30年のあゆみ

●…センター事業 ○…世の中

平成12年 2000

- 第7回「食とくらしのフェスタ」開催
- 環境衛生営業振興助成交付金事業が廃止

- 日比谷線で脱線事故
- 三宅島付近で火山噴火、島民ら避難
- 大手百貨店そごう倒産
- 白川英樹さんノーベル賞
- 有珠山（北海道）噴火
- 介護保険制度スタート
- シドニー五輪開催

平成13年 2001

- 第9代理事長に柳川一朗氏（飲食）就任
- 第8回「食とくらしのフェスタ」開催
- 財団法人神奈川県環境衛生営業指導センターから財団法人神奈川県生活衛生営業指導センターとなる

- 原子力潜水艦事故（ハワイ沖）
- 国内初の狂牛病確認
- ノーベル化学賞に野依良治さん
- 自衛隊が海外で軍事支援
- アメリカ同時多発テロ事件発生（9月11日）
- 食品リサイクル法制定

平成14年 2002

- 専務理事に福馬幸哉氏就任
- 第9回「食とくらしのフェスタ」開催
- 経営実態調査開始

- 牛肉偽装事件発覚
- 日朝首脳会談（拉致被害者5人帰国）
- サッカーW杯日韓共催
- 小柴昌俊、田中耕一さんにノーベル賞

平成15年 2003

- 第10代理事長に八亀忠勝氏（喫茶）就任
- 第10回「食とくらしのフェスタ」開催
- 景況等調査受託事業開始

- 自衛隊を戦地（イラク）へ派遣
- 総選挙、民主躍進
- 日本の宇宙開発失敗続く（みどり2号、のぞみ）
- 新型肺炎「SARS」が新感染症に指定

平成16年 2004

- めん・一般飲食業の標準営業約款登録開始

- 参院選で自民党惨敗
- 鳥インフルエンザ79年ぶり発生
- アメリカ牛肉輸入停止
- 新潟中越地震発生
- アテネ五輪開催
- スマトラ沖地震

平成17年 2005

- 理事長に八亀忠勝氏（喫茶）再任
- 飲食業・理容・美容・旅館業の苦情対応の手引き作成
- ホームページリニューアル

- インドネシアスマトラ島西方で8.7の地震発生
- ローマ法王ヨハネ・パウロ二世が死去
- 野口聡一宇宙飛行士搭乗のスペースシャトル「デイスカバリー」打ち上げ成功
- 第44回総選挙自民党が大勝
- 耐震強度偽装問題発覚
- 福知山線脱線事故

平成18年 2006

- 専務理事に加藤一良氏就任
- クリーニング業の苦情対応の手引き作成
- 省エネ・資源リサイクル推進事業の実施

- ライブドア事件
- 神戸国際空港あが開港
- 第1回WBCで王貞治監督率いる日本が優勝
- 全国各地で大雨被害
- 台風13号が猛威
- ノロウイルス流行

平成19年 2007

- 理事長に八亀忠勝氏（喫茶）再任

- 第1回東京マラソン開催
- 新潟中越沖地震
- 第21回参院選で自民党が民主党に大敗
- 大阪世界陸上開催
- 郵政民営化がスタート
- 偽装表示事件（石屋製菓・赤福）
- 年金記録問題
- 能登半島地震

平成20年 2008

- 「神奈川県公共的施設における受動喫煙防止条例（仮称）」に係る陳情書の提出
- 「神奈川県公共施設における禁煙条例（仮称）」に係る飲食店、旅館事業者との知事の意見交換会

- 中国製ギョーザ食中毒事件
- 緊急地震速報提供開始（NHK）
- 橋下氏大阪府知事当選
- 北京五輪開催
- 日本政策金融公庫発足

平成21年 2009

- 理事長に八亀忠勝氏（喫茶）再任
- 小規模事業者経営支援事業実施
- 「理容所及び美容所における衛生水準の向上を図るための誓願」提出

- 裁判員制度開始
- 第45回総選挙
- オバマ米大統領来日

平成22年 2010

- 「神奈川県公共的施設における受動喫煙防止条例」施行

- 第22回参院選挙
- APEC首脳会議日本で開催

平成23年 2011

- 理事長に八亀忠勝氏（喫茶）再任
- センター経営指導員による「生活衛生改善貸付（衛経貸付）」の取扱開始
- 平成25年公益法人移行準備開始
- 新規開設者等に対する衛生法等に係る情報提供開始

- 東日本大震災（3月11日）

平成24年 2012

- 専務理事に小橋隆氏就任
- 創立30周年記念事業準備

- 第46回総選挙で自民党大勝
- スカイツリー開業
- ロンドン五輪開催
- 日本で173年ぶりとなる金環日食
- 笹子トンネル崩落事故

就任期間	理事長	副理事長	専務理事	常務理事
昭和 57.7～60.6	榎本孝一(旅館)	富田定衛(氷雪) 岩沢副一(鮭商) 石黒銀三(理容)	中川尊代(旅館)	金井良雄(麺類) 平田重吉(浴場)
60.6～62.6	吉田米造(クリーニング)	宮代崇造(食肉) 岩沢副一(鮭商) 高野庄市(理容)	遠藤慶一(センター)	田中房治(麺類) 寺坂満(浴場)
62.6～平成元.6	高野庄市(理容)	松浦健市(氷雪) 松倉喜十(飲食) 齋藤季武(食鳥肉)	63.3まで遠藤慶一(センター) 63.4から小林滋樹(センター)	八亀忠勝(喫茶) 富田茂吉(クリーニング)
平成 元.6～3.6	高野庄市(理容)	松浦健市(氷雪) 松倉喜十(飲食) 齋藤季武(食鳥肉)	小林滋樹(センター)	八亀忠勝(喫茶) 富田茂吉(クリーニング)
3.6～5.6	松浦健市(氷雪)	齋藤季武(食鳥肉) 富田茂吉(クリーニング) 太田重治(麺類)	小林滋樹(センター)	八亀忠勝(喫茶) 白井操子(美容)
5.6～7.6	齋藤季武(食鳥肉)	富田茂吉(クリーニング) 太田重治(麺類) 八亀忠勝(喫茶)	5.6まで小林滋樹(センター) 5.7から堀越孝一(センター)	白井操子(美容) 牧田吾郎(鮭商)
7.6～9.6	富田茂吉(クリーニング)	八亀忠勝(喫茶) 白井操子(美容) 牧田吾郎(鮭商)	堀越孝一(センター)	安田良三(浴場) 柳川一朗(飲食)
9.6～11.6	八亀忠勝(喫茶)	白井操子(美容) 牧田吾郎(鮭商) 柳川一朗(飲食)	10.6まで堀越孝一(センター) 10.7から宮代諒嗣(センター)	高見沢洋一(理容) 石村隆生(旅館)
11.6～13.6	牧田吾郎(鮭商)	白井操子(美容) 柳川一朗(飲食) 高見沢洋一(理容)	宮代諒嗣(センター)	石村隆生(旅館) 山田清(簡宿)
13.6～15.6	柳川一朗(飲食)	白井操子(美容) 14.6まで山田清(簡宿) 14.6から石村隆生(旅館)	14.3まで宮代諒嗣(センター) 14.4から福馬幸哉(センター)	14.6まで石村隆生(旅館) 14.6から大塚修一(料理)
15.6～17.6	八亀忠勝(喫茶)	山崎實(理容) 大塚修一(料理)	福馬幸哉(センター)	小岩政次(クリーニング)
17.6～19.6	八亀忠勝(喫茶)	山崎實(理容) 大塚修一(料理)	18.3まで福馬幸哉(センター) 18.4から加藤一良(センター)	小岩政次(クリーニング)
19.6～21.6	八亀忠勝(喫茶)	山崎實(理容) 大塚修一(料理)	加藤一良(センター)	齋藤武彦(食鳥肉)
21.6～23.6	八亀忠勝(喫茶)	山崎實(理容) 大塚修一(料理)	加藤一良(センター)	齋藤武彦(食鳥肉)
23.6～	八亀忠勝(喫茶)	大塚修一(料理) 24.6まで山崎實(理容) 24.6から上野好一(食肉)	24.3まで加藤一良(センター) 24.4から小橋隆(センター)	24.6まで上野好一(食肉) 24.6から張学金(中華)

創立30周年によせて

お祝いの言葉

神奈川県クリーニング生活衛生同業組合

元理事長 富田 茂吉（第6代指導センター理事長）



（財）神奈川県生活衛生営業指導センター創立30周年、心からお祝い申し上げます。

また、指導センター事業を支えてこられた歴代理事長並びに役職員一同に敬意を表します。

指導センターは各業種の経営の健全化と消費者サービスの向上に盡力されています。

私の記憶に有るのは産貿ホールで開催された食と暮らしのフェスタであります。各組合が一堂に会して技能・技術を発揮されて消費者にPRされたことです。

また、多くの尊い犠牲者を出した阪神淡路大震災発生後、兵庫県指導センターと交流・懇談し、災害の様子と説明を受けました。その中で特に印象に残ったのは、活断層の上の建物は悉く倒壊する等地震の恐ろしさを思い知らされたのです。

長田地区に建てられた仮設住宅を視察してまいりました。

また、消費者が安心して店を選ぶ目安として、理容、美容、クリーニング等のSマークの標準営業約款登録店の審査業務や、クリーニング師の3年毎の研修も指導センターで行われております。

指導センターの業務も多岐にわたり、皆様のご労苦に感謝を申し上げ、最後に理事長様をはじめ役職員御一同様の御健勝をご祈念申し上げましてお祝いの言葉とします。

創立30周年をお祝いします

神奈川県生活衛生同業組合中央会

会長 平山 正晴



（財）神奈川県生活衛生営業指導センターが、創立30周年を迎えましたことを心からお祝い申し上げます。

私も長くこの業界にありますが、30年を振り返りますとあっという間の30年間だったような気がします。

いつの時代でもどんな時でも、指導センターには生活衛生関係のことでは、先頭に立っていろいろなことを行ってもらいました。

また、17の生活衛生同業組合は、指導センターからいろいろな指導をしていただきまして、とても助かっております。そのお陰で、組合同士も非常に仲良くできていまして、良い雰囲気が保たれています。

私が特に印象に残っている出来事ですが、昭和58年、センターができた翌年に、「環衛まつり」を実施したこと、平成6年から平成15年まで10回に渡って開催した「食と暮らしのフェスタ」は、今でもはっきりと覚えています。大勢の来場者で、とても盛況でした。

また、このようなイベントができればよいと思います。

これからも指導センターの役割はたいへん重要であると考えております。業界や生活衛生同業組合中央会のためにも、また、生活衛生関係の事業者のためにも頑張りたいと思います。

指導センターの益々の発展を祈念します。

創立30周年によせて

神奈川県理容生活衛生同業組合

前理事長 山崎 實



指導センター30周年おめでとうございます。

12年間（4期）理事長の時代に変にお世話になりました。17生衛団体をまとめるというのは大変な事だったと思います。

我々としては、組合行政について色々こまかな事を指導頂きました。

12年間の中で、毎年行われる親睦旅行がいつも当組合の理事会で、欠席が続きました。大変残念な事でした。

行政面での指導に対しては、組合として組織を挙げて参加しなければならない事など色々の行事を指導頂きました。

とにかく指導センターのお陰で、組織として他業種の方々と情報交換が出来大変有益でした。

今後の発展を祈ります。

創立30周年を祝して

神奈川県氷雪販売業生活衛生同業組合

前理事長 長谷川 松雄



（財）神奈川県生活衛生営業指導センターの創立30周年にあたり、心よりお慶びを申し上げます。

センター創立30年の節目が、今日の極めて厳しい折の遭遇にも拘わらず、毅然として立上げ、実行される役員並びに事務職員皆様のご尽力、力強い結束に深甚な敬意を表します。

昭和32年環衛法施行に伴い、県下に各業種別の環同組合が次々と生まれました。昭和26年に設立しました「環衛協議会」は、昭和36年「神奈川県環境衛生同業組合連絡協議会」に名称変更されました。これが母体となって昭和50年（社）神奈川県環境衛生同業組合中央会に移行され、昭和54年環衛法の一部が改正となり、各都道府県単位で環境衛生営業指導センターが設置されることとなり、昭和57年設立された事は、指導センター10周年記念誌に記述がございました。

この30年間の一時期、私もセンターの理事として皆様の仲間入りし、多くの人々の出会い…お付き合い…そして17環同組合共通事業での産貿ホールにて10回に及ぶ環衛まつり「食とくらしのフェスタ」参加等、思い出は尽きません。

生衛業は、あらゆる分野で外圧に曝され厳しい経営を余儀なくされています。

永年続いた商店の文化は失われつつあります。今こそ17業種は生活衛生営業指導センターの下に結束し、力強い生衛業に転進することを期待しております。

（財）神奈川県生活衛生営業指導センターの益々のご発展と皆様方のご健勝をご祈念申し上げ、お祝いのことばといたします。

創立30周年によせて

梁山泊

(財) 神奈川県生活衛生営業指導センター

前専務理事 加藤 一良



我が(財)神奈川県生活衛生営業指導センターは、豪傑・奇傑の巣窟である。
知略派でありながら「朕の辞書には引くという言葉がない」理事長。
県受動喫煙条例制定時にふるった辣腕は全国に鳴り響いた。
おかげでどれだけの店が破綻を免れたか、計り知れない。
一方、豪壮比類なく「向かうところ敵なきがごとき国士無双」会長。
役人・先生方を蹴散らし、蹴散らし、高潔を貫くその実力は誰しも認めざるを得まい。
加えて、その人徳・人望は海よりも広く、山よりも高しである。
この二方を筆頭に、続く各理事も、負けじ劣らぬ知謀・勇壯の傑物揃いである。
各生同全連での活躍ぶりは目に余る(失礼!)ものがあると漏れ聞いている。
こうした各界の傑物が陣取る我が指導センター理事会は、まさに梁山泊のごとくである。
鉄壁の結束と行動力を発揮して、山積する難題も快刀乱麻。
その一枚岩の行動力は他に類を見ないと全国から賞賛のお言葉をいただいたものである。
専務理事を勤めさせていただいた6年間。
本当に楽しく、貴重なひとときであったと、ありし日を思い感謝・感涙の今日このごろである。
30周年を迎え、(財)神奈川県生活衛生営業指導センターがさらに躍進し、その歴史と功績を高めていただけることを確信して、記念祝賀の言葉にかえさせていただきます。

創立30周年を心より御祝い申し上げます

神奈川県鮪商生活衛生同業組合

副理事長 中丸 正通 (経営特別相談員)



私が経営特別相談員になる前に、昭和46年度に厚生省指定事業による環衛業経営相談員養成講習会が行われ、津田文吾神奈川県知事の第二号修了証書を今でも大切に保管しており、それから特別相談員となりました。

早いもので本年が、(財)神奈川県生活衛生営業指導センターが創立30年との事、感慨深いものがあります。指導センター主催の毎回の研修会、講演会、講義等に出席させていただいておりますが経営のいろいろな面でヒントになり同業の方にも話をしながら勉強になっております。

これからも益々経済状況の変動の時代に対応すべく、指導センターの行われる行事に参加しなければと思います。

有名な講師の先生や日本政策金融公庫の担当の方々のわかりやすい説明等また全国生活衛生営業指導センターの指導調査部長さんの特別貸付推進等、私も親の代からの寿司屋で神奈川県鮪商組合理事そして副理事長をいつのまにか45年務めさせていただいておりますが、これからも研修会等に出席させていただいて勉強したいと思います。

今後(財)神奈川県生活衛生営業指導センターの益々の発展とご隆盛を御祈念申し上げ、御祝いのことばといたします。

創立30周年によせて

神奈川県クリーニング生活衛生同業組合

次長 高良 紀子（経営特別相談員）



指導センターの創立30周年を心からお喜び申し上げます。

私がクリーニング組合に再入社したのは、平成元年でした。当時は、バブル前でしたので、私たちの組合も組合員が1,900名以上いまして、景気のよい人たちが多く、何ごとにおいても物事がやりやすい状況でした。また、当時の指導センターの皆さんともよくおつきあい等させていただきました。

指導センターでは平成6年以降、毎年17生同組合が集う「食とくらしのフェスタ」のイベントが開催され、大勢の入場者があり、大変にぎわいました。私もそれを楽しみにしており、少しではありませんが、お手伝いをさせてもらったものです。

ある時、指導センターから、「経営特別相談員」という制度があって、組合とセンターの連絡係でよいし、難しいことではないので、是非引き受けてくれないかとの話をいただきました。

もともと深くは考えない性格でもありますので、二つ返事で引き受けてしまいました。県知事からは委嘱状をもらいましたが、これも特に考えずにいたものでした。組合の人たちとの会話や相談等においても普通にやっていたものでした。

毎年指導センターで、開催している「経営特別相談員研修会」にはいつも参加していましたが、ここでは、公庫の課長さんなどが貸付の話をするので、よく分らないが、そういうものかと聞いていたものでした。

その後、あるとき、指導センターから毎年送られてくる「生活衛生関係営業ハンドブック」という冊子をめくっていたところ、「経営特別相談員」というページが出てきました。

組合の仕事でも、組合員の人たちから融資等の相談があれば、相談にのったりしていましたが、経営改善資金（無担保・無保証融資）の審査や相談までするとは全く思っていませんでした。これを見て、これからは自分を変えていかなければいけないと思いました。

現在は、経営改善資金の審査は実施してはいませんが、少しずつ手掛けてみたい気持ちになっております。

これからは、組合のためにも、自分のためにも色々挑戦していきたいと思っています。

指導センターの益々の発展をお祈りします。

表彰者名簿 (敬称略)

叙 勲

受章(年)	氏 名	組 合	受章名
昭57	木下 忠吉	食肉	勳五等瑞宝章
57	高橋 智	美容業	勳六等单光旭日章
59	宮代 崇造	食肉	勳五等瑞宝章
59	小林 清	美容業	勳六等单光旭日章
59	中川 尊代	旅館	旭日单光章
60	石黒 銀三	理容	勳五等瑞宝章
60	大木勝次郎	理容	勳六等单光旭日章
60	守屋 辰蔵	クリーニング	勳四等瑞宝章
62	松浦 健市	氷雪販売業	勳六等单光旭日章
62	井上文太郎	美容業	勳六等单光旭日章
63	福寿 仲次	興行	勳五等瑞宝章
63	榎本 孝一	旅館	瑞宝中綬章
63	山田 勝一	クリーニング	勳六等单光旭日章
平元	松倉 喜十	飲食業	勳五等瑞宝章
2	高梨 武夫	クリーニング	勳六等单光旭日章
3	松本 真幸	社交飲食業	勳五等瑞宝章
4	金井 良雄	麺類	勳六等单光旭日章
4	石塚 那美	美容業	勳六等宝冠章
5	伊藤 成江	美容業	勳六等宝冠章
5	吉田 米造	クリーニング	勳五等瑞宝章
7	土屋隆太郎	食肉	勳五等瑞宝章
8	晴山 一雄	飲食業	勳五等瑞宝章
8	久住 房枝	美容業	勳六等宝冠章
9	成田 保男	喫茶飲食	勳六等单光旭日章
9	高野 庄市	理容	勳六等单光旭日章
10	齋藤 季武	食鳥肉販売業	勳五等瑞宝章
10	富田 茂吉	クリーニング	勳五等瑞宝章
11	安田 良三	公衆浴場業	勳六等单光旭日章
12	牧田 吾郎	鮭商	勳五等瑞宝章
12	長谷川英夫	理容	勳六等单光旭日章
13	黒鳥雄三郎	中華料理業	勳五等瑞宝章
14	上野 好一	食肉	勳五等瑞宝章
15	長谷川松雄	氷雪販売業	旭日双光章
15	倉林 榮	理容	旭日单光章
16	柳川 一朗	飲食業	旭日双光章
16	富塚 忠男	食肉	旭日双光章
16	兼子 信行	食肉	旭日双光章
17	高見澤洋一	理容	旭日双光章
17	井上 清	旅館	旭日单光章
18	中込 昭	麺類	旭日双光章
18	手塚 茂	興行	旭日双光章
20	金子庄之助	麺類	旭日单光章
21	白井 操子	美容業	旭日双光章
21	萩原 敏春	旅館	旭日单光章
21	小岩 政次	クリーニング	旭日双光章
23	宮崎 邦雄	食肉	旭日双光章
24	山本 知宏	食肉	旭日双光章

褒章

受章(年)	氏 名	組 合	受章名
昭57	吉田 米造	クリーニング	藍綬褒章
60	田中 房治	麺類	藍綬褒章
60	高野 庄市	理容	藍綬褒章
平成	冨田 茂吉	クリーニング	藍綬褒章
4	福岡伊三夫	食肉	藍綬褒章
5	勝俣 武夫	旅館	藍綬褒章
7	高見澤洋一	理容	藍綬褒章
7	田中喜一郎	旅館	藍綬褒章
9	柳川 一朗	飲食業	藍綬褒章
11	八亀 忠勝	喫茶飲食	藍綬褒章
11	白井 操子	美容業	藍綬褒章
14	荒木 俊夫	食鳥肉販売業	藍綬褒章
18	佐々木淑子	美容業	黄綬褒章
23	戸部 幸枝	美容業	黄綬褒章

(財)神奈川県生活衛生営業指導センター 創立30周年記念感謝状贈呈式

と き 平成25年 2 月27日(水)

ところ ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル

神奈川県知事感謝状贈呈者

財団法人 神奈川県生活衛生営業指導センター

生活衛生営業経営特別相談員厚生労働省健康局長
感謝状贈呈者(敬称略)

石井 弘 神奈川県麺類生活衛生同業組合
川津 明 神奈川県飲食業生活衛生同業組合
中澤裕太郎 神奈川県食肉生活衛生同業組合
近賀 一明 神奈川県美容業生活衛生同業組合

表彰者名簿 (敬称略)

県民功労者表彰

受賞(年)	氏 名	組 合
昭58	田中 房治	麺類
58	高野 庄市	理容
60	松浦 健市	氷雪販売業
60	富田 茂吉	クリーニング
61	福寿 仲次	興行
62	成田 保男	喫茶飲食
62	伊藤 成江	美容業
63	福岡伊三夫	食肉
63	小池清二郎	理容
平元	太田 重治	麺類
元	小早川 隆	食肉
2	黒鳥雄三郎	中華料理業
2	齋藤 季武	食鳥肉販売業
3	白井 一夫	麺類
3	勝俣 武夫	旅館
3	久住 房枝	美容業
4	土屋隆太郎	食肉
4	中杉 辰雄	クリーニング
5	牧田 吾郎	鮭商
5	高見澤洋一	理容
6	大津 正吉	麺類
6	八亀 忠勝	喫茶飲食
6	手塚 茂	興行
7	植田 昭司	食肉
7	井上 清	旅館
7	安田 良三	公衆浴場業
7	白井 操子	美容業
8	柳川 一郎	飲食業
8	兼子 信行	食肉
8	倉林 榮	理容
8	鈴木福太郎	クリーニング
9	鈴木宇一郎	鮭商
9	長谷川松雄	氷雪販売業
9	白須 喜明	理容
10	前田 明男	飲食業
10	内藤 正敏	クリーニング
11	上野 好一	食肉
12	村上 好	中華料理業
12	松岡 昭男	飲食業

受賞(年)	氏 名	組 合
12	荒木 俊夫	食鳥肉販売業
12	小川原郁夫	クリーニング
13	古屋 堅治	鮭商
13	金子庄之助	麺類
13	大矢 東	食肉
13	富塚 忠男	食肉
14	中丸 正通	鮭商
14	宮本 一	飲食業
14	桑田 久司	喫茶飲食
14	小岩 政次	クリーニング
15	磯本陽太郎	理容
15	山下 眞二	公衆浴場業
16	中込 昭	麺類
16	須山 禎治	食肉
16	山崎 實	理容
16	山本久美子	美容業
17	角川 栄喜	中華料理業
17	相澤 英文	飲食業
17	眞壁 正人	美容業
18	白石 義一	鮭商
18	村岡 陽一	飲食業
18	倉田 一之	理容
19	鈴木 睦雄	喫茶飲食
19	山本 知宏	食肉
20	張 学金	中華料理業
20	出嶋 政信	飲食業
21	川口 勇	飲食業
22	神崎 弘	中華料理業
22	齋藤 謙一	理容
22	大塚 修一	料理業
23	国島 正富	飲食業
23	柴垣眞太郎	理容
23	浦島 昭夫	クリーニング
23	畑中美智子	美容業
24	成田 勝治	喫茶飲食
24	金宮 政雄	食肉
24	松浦 矩久	氷雪販売業
24	星野 貞策	公衆浴場業

厚生労働大臣表彰

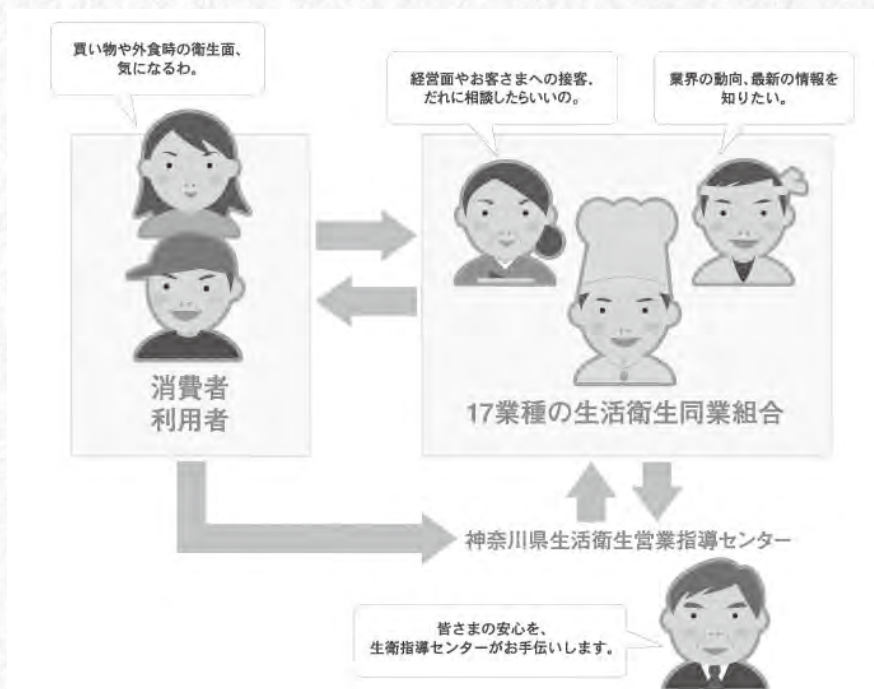
受賞(年)	氏 名	組 合
平10	山崎 敏雄	中華料理業
10	出嶋 政信	中華料理業
10	高瀬 茂	中華料理業
10	北村 幸男	理容
10	関 昌泰	美容業
10	小川原郁夫	クリーニング
11	中込 昭	麺類
11	神崎 弘	中華料理業
11	林 重雄	飲食業
11	山本 知宏	食肉
11	宮崎 邦雄	食肉
11	樋口 隆	理容
11	山本久美子	美容業
12	大塚 修一	料理業
12	山崎 實	理容
12	寺田 徹彦	理容
12	小岩 政次	クリーニング
13	竹盛 徹	氷雪販売業
13	高橋 光男	食肉
13	磯本陽太郎	理容
13	山川 文子	美容業
13	山下 眞二	公衆浴場業
14	村岡 陽一	飲食業
14	倉田 一之	理容
14	澤飯 廣英	美容業
15	張 学金	中華料理業
15	国島 正富	飲食業
15	鈴木 睦雄	喫茶飲食
15	栗田 靖夫	食鳥肉販売業
15	林 利次	理容
15	矢島 良平	美容業
15	浦島 昭夫	クリーニング
16	白石 義一	鮭商
16	塩沢 俊介	中華料理業
16	志村 英昭	飲食業
16	伊澤 信高	飲食業
16	堀 純	理容
16	小坂信太郎	理容
16	鈴木 邦彦	美容業
17	杉浦 時彦	鮭商
17	小川 恒雄	飲食業
17	鈴木 秀雄	食肉

受賞(年)	氏 名	組 合
17	内田伸一郎	美容業
17	白石 章	クリーニング
18	根岸 邦夫	麺類
18	青木 伊平	中華料理業
18	安生 誠彦	喫茶飲食
18	齋藤ナカ子	喫茶飲食
18	入内島隆良	食肉
18	飛田 勇	理容
19	田邊 好光	鮭商
19	齋藤 和男	中華料理業
19	鈴木 映史	飲食業
19	松浦 矩久	氷雪販売業
19	金子 賢三	氷雪販売業
19	畑中美智子	美容業
20	水島 征治	麺類
20	林 兼正	中華料理業
20	中山 宣詔	飲食業
20	富田 茂臣	喫茶飲食
20	大村 得博	食肉
20	齋藤 武彦	食鳥肉販売業
21	岡本 浩	鮭商
21	常盤 典男	飲食業
21	斎藤 謙一	理容
21	山本 政幸	美容業
21	山下外茂行	クリーニング
22	濱田 勝	麺類
22	三澤 登	飲食業
22	石川 昭夫	食肉
22	若山 清	食肉
22	柴垣眞太郎	理容
22	相原 新祐	美容業
22	市川 功	クリーニング
23	土居 元夫	飲食業
23	安部川 功	理容
23	田崎 義謹	美容業
23	高橋 清隆	公衆浴場業
24	田中 節男	飲食業
24	鳥毛 康男	食鳥肉販売業
24	加藤 伝五	理容
24	渡邊 精二	美容業
24	柿本 三男	クリーニング

※都合上、紙面掲載は平成10年からとさせていただきます。

組合紹介

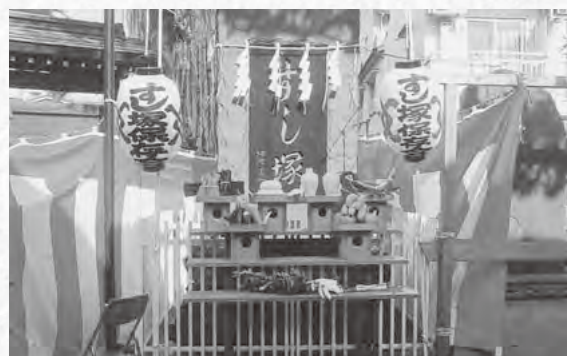
財団法人 神奈川生活衛生営業指導センターは、17の生活衛生同業組合と連携し、生活衛生関係営業の皆様や消費者の皆様の良き知恵袋として活動しております。



神奈川県鮨商生活衛生同業組合

理事長 田邊 好光
設立年月日 昭和33年10月17日
所在地 〒231-0065 横浜市中区宮川町 2-55
ルリエ横浜宮川町 3階301号
TEL.045-242-3345 FAX.045-242-0898
E-mail kanagawa@sushi-all-japan.or.jp
HP <http://sushi-aii-japan.or.jp/kanagawa/>

当組合は半世紀の歳月を経て、現在23支部330名の組合組織で活動しております。お寿司は伝統の技術の上に様々な創意工夫が加えられ栄養バランスの取れた健康食として発展を遂げて参りました。これからも国民生活の食の向上並びに食文化の発展に寿司がどのように貢献できるか組合員一同考えて行きたいと思っております。



毎年10月吉日に神奈川県鮨商組合中心に魚介類に感謝の意を示し「すし塚供養祭」を横浜市南区大鷲神社に於いて行っております。



神奈川県麺類生活衛生同業組合

理事長 出川 修治
 設立年月日 昭和35年 5 月27日
 所在地 〒231-0055 横浜市中区末吉町 3-44
 TEL.045-263-1531 FAX.045-263-3179
 E-mail sobakumiai@mri.biglobe.ne.jp
 HP <http://www.5f.biglobe.ne.jp/~sobakumiai/>

当組合は、「行動する組合」「勉強する組合」をモットーとし、日本そば店の活性化の為、組合機関紙「麺環かながわ」を毎月発行して、商売に役立つ情報を提供。「そば講座」を月に1度開講し、技術の向上、経営実務、創作メニューの開発など自助努力を怠らず、また、国の経済体制に対し、『5つの目標』を掲げ、嘆願運動に取り組んでいます。

【五つの目標】

- ①小売店と大規模店が共存できる経済システムの構築
- ②消費税適用基準免税額の引き上げ
(1千万→3千万)
- ③国産そば粉自給率の向上
- ④保健所に対し、組合加入の指導強化
- ⑤日本伝統文化の保護育成



神奈川県中華料理業生活衛生同業組合

理事長 張 学金
 設立年月日 昭和44年 4 月18日
 所在地 〒231-0045 横浜市中区伊勢佐木町 3-107
 飯田ビル202
 TEL.045-252-3914 FAX.045-252-7405
 HP <http://kanagawa-chuuka.sakura.tv/>

経営環境の悪化に伴い、廃業や経営困難の店が増えている現況、今こそ組織の意義を問い直し、一人ひとりの組合員との融和を図り、潤いある店舗の存続に向けて力を尽くしていきたいと念じています。



組合紹介



神奈川県社交飲食業生活衛生同業組合

理事長 平山 正晴
設立年月日 昭和45年7月15日
所在地 〒231-0015 横浜市中区尾上町3-45-2
ヴァルス尾上町401号
TEL.045-323-9516 FAX.045-323-9517

創立30周年を迎えるにあたり、歴代の理事長及び役員諸氏のご努力に感謝し、併せて関係官庁の深いご理解に対し、心よりお礼申し上げます。今回、事務所移転に伴い、心機一転「社会の絆を大切に」組合員皆が協力しあっていきたいと思っています。



神奈川県料理業生活衛生同業組合

理事長 大塚 修一
設立年月日 昭和43年12月1日
所在地 〒222-0025 横浜市港北区篠原西町17-16
TEL.045-434-3200 FAX.045-432-9000
E-mail ryo-ri@the-charge.co.jp
HP <http://www.ryo-ri.com>

割烹料理店を中心にした料理としつらえを大切にする団体ですが、現在は多種の料理を扱うお店の運営、相談に積極的に取り組んでいます。料理の情報交換、研究会に参加しませんか？





神奈川県飲食業生活衛生同業組合

理事長 柳川 一郎
設立年月日 昭和44年10月9日
所在地 〒231-0033 横浜市中区長者町 8-134
湘南信金ビル 8階
TEL.045-251-8873 FAX.045-251-8879
HP <http://www.k-insyoku.com>

当組合は、幅広い業種の方が加入対象の為、設立は至難の業と言われておりましたが、行政のご支援と諸先輩の献身的な努力により、やっと設立に漕ぎつけた組合です。
それだけに組合の歴史を認識し、大事に守り発展させていく大きな責務があると痛感しております。



神奈川県喫茶飲食生活衛生同業組合

理事長 八亀 忠勝
設立年月日 昭和43年11月25日
所在地 〒231-0033 横浜市中区長者町 8-131
ヤカメビル 4階
TEL.045-251-8977 FAX.045-262-0264
E-mail aat18520@par.odn.ne.jp
HP <http://www.kissa-kanagawa.jp>

異国のロマンがそこはかたなく漂う珈琲の香り、そこにはいつも新鮮なコミュニケーションが生まれます。



組合紹介



神奈川県食鳥肉販売業生活衛生同業組合

理事長 齋藤 武彦
設立年月日 昭和35年4月6日
所在地 〒221-0054 横浜市神奈川区山内町1-1
TEL.045-441-5185 FAX.045-453-3450

良質な鶏肉を、小売店頭並びに業務用卸を通じ、安全に消費者へ提供する為に、食品衛生を遵守し、設備の改善や経営の近代化を図るなど、業界の環境衛生に努めています。



神奈川県食肉生活衛生同業組合

理事長 上野 好一
設立年月日 昭和34年4月14日
所在地 〒244-0002 横浜市戸塚区矢部町969-38
TEL.045-865-3391 FAX.045-865-3395
E-mail ken-niku@mx1.alpha-web.ne.jp

お肉は

- ①と畜場における加工
- ②食肉処理場（食肉処理業または食肉販売業の営業許可を受けている施設）における加工
- ③飲食店営業の営業許可を受けている施設における調理など食肉流通過程の各段階で衛生的な処理がされておりますが、生で食べることはおすすめできません。





神奈川県氷雪販売業生活衛生同業組合

理 事 長 松浦 矩久
設立年月日 昭和33年3月3日
所 在 地 〒231-0064 横浜市中区野毛町 2-64
野毛産業K K内
TEL.045-231-1771 FAX.045-231-1773

我々氷雪販売業界は食品衛生法を遵守し衛生、経済情勢の変化、消費者の意見や要望を把握しサービスの見直向上、純氷の形状大きさ、品揃え等顧客の多様化に応え 純氷を多くの人達に知っていただき現在のグルメ嗜好社会に反映させ この歴史ある氷雪業界に自信と誇りを持って 組合の安定向上に皆様と共に努力したい。



神奈川県理容生活衛生同業組合

理 事 長 倉田 一之
設立年月日 昭和32年12月20日
所 在 地 〒235-0036 横浜市磯子区中原 1-1-14
TEL.045-771-3422 FAX.045-771-9339
E-mail info@krk.or.jp
HP <http://www.krk.or.jp/>

理容店を出るときの表情がすっきり明るく爽やかになるように、それを目標にわたしたちは毎日技を磨き、心をこめたおもてなしができるように努力いたします。



組合紹介



神奈川県美容業生活衛生同業組合

理事長 澤飯 廣英
設立年月日 昭和44年10月9日
所在地 〒231-0058 横浜市中区弥生町 2-15-1
ストークタワー大通り公園Ⅲ902号
TEL.045-261-0131 FAX.045-250-0144
HP <http://kbbkbeauty.jp/>

創立30周年記念、誠に御目出度うございます。
創立以来、多くの諸先輩の御努力により今日を
迎える事が出来た事に心より感謝申し上げます。
厳しい社会情勢の中、消費者に対し「安心、安全」
を提供できる様、一丸となって取り組んで
行きたいと願っております。



神奈川県興行生活衛生同業組合

理事長 内嶋 一雄
設立年月日 昭和32年12月26日
所在地 〒231-0005 横浜市中区本町 3-24-2
ニュー本町ビル 8階
TEL.045-664-3252 FAX.045-664-3253
E-mail kougyoukumiai@cube.ocn.ne.jp

映画—それは観る人の笑いと涙を誘い、愛と
感動、夢と希望や勇気を与えられる一番のレ
ジャーです。
私達組合員はこれからもお客さまの側に立ち、
より一層の安心、安全、サービスの向上に努め、
魅力ある映画の提供を目指していきます。





神奈川県旅館生活衛生同業組合

理事長 榎本 孝弘
設立年月日 昭和33年10月14日
所在地 〒250-0311 足柄下郡箱根町湯本698
TEL.0460-85-5520 FAX.0460-85-5546
E-mail k.ryoren@joy.ocn.ne.jp
HP <http://www.kanagawa-ryokan.or.jp>

当組合は、神奈川県内の旅館・ホテルが約300軒加入しております。旅館・ホテル業の健全な発展と利用者の需要の高度化及び多様化に対応したサービスの提供を促進することを目的とし事業活動を行っております。



神奈川県簡易宿泊業生活衛生同業組合

理事長 山田 欣次
設立年月日 昭和35年10月17日
所在地 〒210-0024 川崎市川崎区日進町 9-17
TEL.044-222-7986 FAX.044-222-7986

お客さまに安心の宿、我が家で過ごすような、くつろぎを感じる宿を目指しており、地域の福祉の宿としても社会貢献いたしております。





神奈川県公衆浴場業生活衛生同業組合

理事長 高橋 清隆
設立年月日 昭和33年 6 月30日
所在地 〒232-0022 横浜市南区高根町 2 -10
TEL.045-231-3341 FAX.045-252-0080
E-mail info@k-o-i.jp
HP <http://k-o-i.jp/>

生活衛生指導センター創立30周年誠におめで
とうございます。地域住民の環境衛生確保は、
県民が安心安全に暮らす為には欠く事ができ
ません。一翼を担うセンターの役割は重要であ
り、益々のご発展を祈念致します。



神奈川県クリーニング生活衛生同業組合

理事長 浦島 昭夫
設立年月日 昭和32年12月31日
所在地 〒231-0003 横浜市中区北仲通 2 -20
TEL.045-201-7544 FAX.045-201-6526
HP <http://www.kanagawa-cleaning.or.jp/>

組合加盟店では親切・丁寧・安心を心がけ、日々
技術・技能の向上に努めております。
『組合は、人の和・知恵の話・組織の輪』組合
標語の一つです。
生衛業の指導の中心として益々の飛躍を祈念
致します。



フォトライブラリー

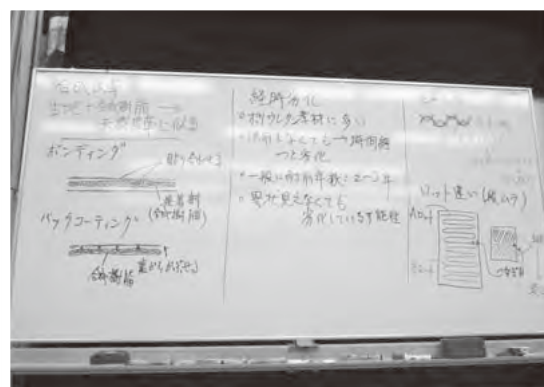
関東甲信越静ブロック 経営指導員会議



経営特別相談員研修会



クリーニング師等研修・講習会



広報委員会



かながわ食とくらしのフェスタ





編集後記

平成24年、(財)神奈川県生活衛生営業指導センターは創立30周年を迎えました。創立の昭和57年、1982年は中曽根内閣が発足し、フォークランド紛争の開戦、ホテルニュージャパンの火災があったりの激動の年でした。

あれから私たち生活衛生営業を取り巻く環境は目まぐるしく変わりました。

指導センターの役割もその流れに押されて変化してきましたが、この間を支えていただいた17の組合の皆様一人一人、日頃から指導をいただいている神奈川県生活衛生部の皆様、その他関係機関の各位のご協力、ご支援に心から感謝しながら、ささやかな記念誌を作ることになりました。

少人数の広報委員会メンバーと指導センター事務局がこの半年間、何度も会議を繰り返しようやく完成にこぎつけました。

広報誌編集だけでなく、本日の創立30周年記念式典の企画、運営に取り組んでくれた広報委員会に感謝しています。

短い準備期間のゆえになにかと不行き届きの点もあろうかと危惧をしていますが、なにとぞご諒承いただき、この記念誌をご高覧いただけるようお願いいたします。

広報委員長 大塚修一

指導センター創立30周年記念誌広報委員会

広報委員長 大塚修一 (名前順)

同 委員 北田 裕子	同 委員 高良 紀子
同 委員 桑山 祥子	同 委員 中澤 裕太郎
同 委員 小橋 隆	同 委員 茂木 晴子
同 委員 小宮山 利幸	同 委員 宮入 清隆

(財)神奈川県生活衛生営業指導センター 創立30周年記念誌

平成25年2月吉日発行

発行所	財団法人神奈川県生活衛生営業指導センター 〒231-0005 神奈川県横浜市中区本町3-24-2 ニュー本町ビル内 TEL 045-212-1102 FAX 045-212-1453 HP http://www.seiei-kanagawa.jp/
発行人	八亀 忠勝
編集人	小橋 隆
広報委員長	大塚 修一
印刷所	株式会社 神奈川機関紙印刷所



30

周年記念誌